

支那旅行用語

有リマセンカ	メーユーマ
有リマス	ユー
有リマセン	メーユー
御覽ナサイ	カンカン
見マス	カンバ
何デスカ	シエンモ
左様デスカ	シーマ
左様デス	シーシー
イ、エ	プーシ
判リマセン	プーミンバイ
虚言(ウソ)	サーホアン

好イ	ハオ
宿屋	フアンテエン
此レ	チヨエコ
其レ	ナエコ
此ノ	チヨ
其ノ	ナー
彼ノ	ナー
賣リナサイ	ナイバ
買ヒナサイ	マイバ
買ツテ來ナサイ	マイライ
買ヒマセウ	マイイバア

買フ	マーイ
賣ル	マイ
要リマセン	プヤオ
宜ロシイデスカ	ハオマ
イクラデスカ	トーシヤオチエン
下サイ	ケイウオー
高イデス	クイ
安イデス	チエン
賃錢ヲ遣ラウ	ケイチャチエン
皆	トウ
澤山デス	ハオシエコ

剩錢ヲクダサイ	ツーオチエンバ
何ニ	シヨマ
何時(イツ)	トーツアン
幾時	チーテンチヨ
別ニ	ピエデ
差上マス	ケーニー
行キマセウ	ツオーバア
食ヒマス	チー
飲ミマス	ホオ
長イ	チャン
短イ	トアン

支那旅行用語

廣イ	コワン
大キイ	ター
小サイ	シヤオ
多イ	トオ
オカシ	コーシヤオ
美シイ	ハオカン
穢ナイ	プーカンチン
堅イ	イエ
軟カイ	ロワン
熱イ	イエ
寒イ	ロン

オハイリナサイ	チンチンライ
如何デス	ツアンモヤン
有難ウ	シエ
左様ナラ	ツアイチエン
單	語
一(一ツ)	イー
二(二ツ)	アール(リヤン)
三(三ツ)	サン
四(四ツ)	スー
五(五ツ)	ウー
六(六ツ)	リユー

妻 夫 女 男 人 曇天 晴天 火 水 雲 雨

支那旅行用語

今日 萬 千 百 十五 十二 十一 十(十ヲ) 九(九ツ) 八(八ツ) 七(七ツ)  
チンテン イーワン イーチェン イーパイ シーアル シーイー シイー チュー パー チー

舌 齒 鼻 口 目 顔 人足 主人 友人 娘 父母

プムウ クーニヤン ボンユー トンヂヤイ クーリー リエン イエンチン ツウイ ビイズ ヤー シエトウ

靴 毛布 椅子 窓 倉庫 家 足 手 鬚 髮 頭

五

ナオタイ トウフワア ホウズ シユー チャオ フワンズ ツアンクー ツアン ツアン イーツ タンズ ビーパオ

今日 萬 千 百 十五 十二 十一 十(十ヲ) 九(九ツ) 八(八ツ) 七(七ツ)

支那旅行用語

チンテン イーワン イーチェン イーパイ シーアル シーイー シイー チュー パー チー

今夜 晩 晝 朝 五月 四月 來月 本月 明後日 昨日 明日

ミンテン ツオーテン ホーテン ボンユエ シヤアユエ スーユエ ウーユエ ツアオチー シャンウー ワンシヤン チルワンシヤン

風 天氣 月 太陽 冬 秋 夏 春 一里 一箇 昨夜

四

ツオールワンシヤン イイコ イーリー チュンテン シヤアテン チユウテン トンテン タイヤン ヌエ テンチー フオン

ランプ 時計 茶碗 新聞 手紙 書籍 寫眞 鉛筆 印刷 机 衣服 外套 ズボン

支那旅行用語

ヤントン  
ピヤオ  
ツアーワン  
シンバオ  
シン  
シユウ  
チャオシヤン  
チエンピー  
トーシウ  
チヨウツ  
イーシヤン  
ワイトオ  
クウズ

帽子 飯 茶 湯 冷水 煙草 藥 酒 麥酒 魚 木 草 人力車

マオツ  
フロン  
ツアー  
カイスイ  
リヤンスイ  
エン  
ヤラ  
チユー  
ビイチユー  
ユウイー  
ムートオ  
ツアオ  
トンヤンチオ

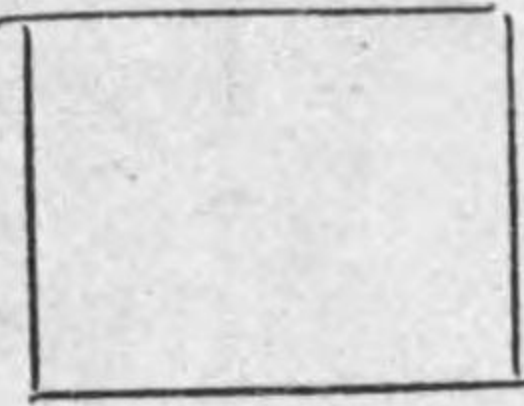
電車 馬車 橋(カゴ) 荷物 領事館 海關 郵便局 停車場 電信局 警察署 役所

六

デンチオ  
マーチオ  
チアオ  
シンリ  
リンシーコワン  
ハイクワン  
シンチユイズ  
ホオチョーヤン  
テンバオチユイ  
チンチャシユイ  
ヤアメン

(終)

不許複製



昭和七年三月八日印刷  
昭和七年三月十日發行

新らしき滿蒙の手引  
定價 參拾五錢

著者 遠藤壽儼  
發行者 鎌田眞一郎  
印刷者 村山鐘一郎  
東京市麴町區元園町一ノ七  
東京市神田區猿樂町二ノ二一

發行所

兵 館  
東京市麴町區元園町一ノ七

振替東京四九三六  
電話九段(33)二五二五

印刷所 鐘山堂

前支那軍事顧問 陸軍少將多賀宗之閣下著

### 支那の軍情

定價 四十錢  
送料 四錢  
四六判 百四十頁

多年支那に駐在して同國軍事に精通せる第一人たる著者がその軍隊の真相を餘す所なく解剖せるものである。我が隣國の軍情は我等國民としては是非知悉せねばならぬ殊に最近の日支國交險惡を告ぐる砌切に一讀を望む。

陸軍大將男爵 大井成元閣下序 恢弘會著

### 極東平和と日本陸軍

定價 五十錢  
送料 四錢  
四六判 百五十頁

軍備は平和の保障である。幾多の軍縮會議も何等の効なく、強大國は弱小國に威壓を以て臨みつゝあるは現在の状態である、而して帝國の極東に於ける使命は如何？ 本書は陸海軍將官及各方面の名士を網羅せる軍事研究團體恢弘會苦心の著、盲目的軍縮論者よ 先づ本書を讀みて再思せよ



時局支那要圖	金五拾錢 送料八錢	本圖は全支那に對する講演並參考資料、教育材料として最適のものなり。(約二米四方大) 三色刷
時局支那要圖(縮寫版)	金拾錢	本圖は前記「時局支那要圖」を三尺四方大に縮寫したるものにして一般學校生徒及家庭の備付に最も適したものなり。圖面にして時局に鑑みては最適のものなり。三色版
滿洲鐵道概見圖	金四拾五錢 送料八錢	本圖は滿洲を中心として講演並教育資料其他に適用のものなり。(約二米四方大) 三色刷
滿蒙鐵道概見圖	金拾錢	本圖は今般新に陸軍省の調製に係るものにして一般學校生徒及家庭の備付其他に適し絶好無二の資料たり。(約三尺四方大) 三色刷
滿蒙問題資料第一輯	金拾錢	本書は陸、海軍省に於て調査せられたるものにして時局に關する資料を當部に於て編纂せしものにして主要項目は第一、滿蒙諸懸案に就て、第二、滿蒙不安の實相、第三、米國カリビアン政策と滿蒙問題、第四、滿洲事變概要、第五、滿洲駐兵權問題、第六、東支列國陸上部隊兵力第七支那沿岸に於ける海軍配備等
滿蒙問題資料第二輯	金拾錢	本書は第一輯以後に於けるものを調査し編纂せるものにして其の主要項目は、第一、滿洲事變に於ける嫩江河畔の戰闘に就て、第二、滿洲附屬地外に出動する部隊の不可なる所以に就て、第三、滿洲事變に於ける滿洲事變經過の概要、第四、經濟封鎖の盟に於ける滿洲事變經過の概要、第五、支那に關する九ヶ國條約、第六、上海に於ける排日狀況、第七、栗原大尉戰死の狀況、第八、滿蒙要地里程概要圖、第九、昂々溼附近戰場要圖

# 軍需品は 兵林館へ

陸海軍文部諸官衛御用  
在郷軍人會本部御用  
日本青年館御用  
模範教練銃製造元  
明治十七年川上大將推獎創立

東京市麴町區元園町一丁目七番地

電話九段二五一五  
振替東京四九三六

## 兵林館

陸軍砲兵大佐遠藤壽儼氏著

沃野千里 滿蒙の寶庫

四六版二百六十頁  
寫真地圖付  
定價 五拾錢  
送料 六錢

本書は『滿蒙の手引』の姉妹篇とも言ふべきものにて、特に蒙古に就き詳細なる記述をなしてある。卷中著者の尊き體驗たる「捕はれの旅」の項は興味津津たるものがある。切に一讀を薦む。

終

